可憐なシジミチョウ

蝶のなかでもセセリチョウとともに小さな仲間たち、翅（はね）の形がシジミに似ているのでこの名がついたのでしょう。日本では、約90種類が知られています。
一年中いろいろな種類のシジミチョウが見られます。今までに福田で撮った写真のなかから一部を挙げてみます。

ヤマトシジミ

小さくて地味ながら一番よく目にする蝶

ベニシジミ春型

ベニシジミ夏型

この蝶もよく見かけます

アカシジミ

栗の花が咲くころ現れます

ウラナミアカシジミ

夕方になると飛び回ります

ウラナミシジミ

最近あまり見かけないような気がします

トラフシジミ

葉の上や地上によく止まっています

ウラギンシジミ♂

ウラギンシジミ♀

オスとメスの色が違うので見間違うことはありません
翅（はね）の裏面はどちらも白一色（成虫で越冬）

コツバメ

地味過ぎてなかなか目に留まることが少ない蝶です

ゴイシシジミ

笹の葉によく止まっている姿を見かけます

ミズイロオナガシジミ

ミズイロオナガシジミの翅（はね）の表を見たことがありません

ツバメシジミ

意外と羽を閉じたままの種類が多いのです

ルリシジミ

ルリシジミ、サツマシジミは似たもの同士、翅（はね）の裏表ともによく似ています
表はどちらも明るいブルー色

赤木賢治通信員